

(農) レモンの郷 ハウスレモンの出荷始まる

【平成30年8月2日掲載】

尾道市瀬戸田町の農事組合法人レモンの郷（代表理事長畠耕一（ながはたこういち）、構成員7名）では、7月19日からハウスレモンの出荷が始まりました。同法人は、平成24年に新設したハウス1.2haにレモンを植栽し、今年で収穫4年目を迎えました。

構成員の稲葉義則（いなば よしのり）さん方では、息子の典文（のりふみ）さんが昨年就農し、親子でハウスレモンの収穫作業に大忙しです。典史さんは「ハウス内での収穫は暑くてしんどいが、消費者の皆さんには爽やかなグリーンレモンの香りを楽しんでもらいたい」と話されました。

今年産のハウスレモンは加温時期の前倒し、かん水量と回数の増加が奏功したことに加え、春から気温が高く、好天に恵まれたことから、昨年産より果実肥大が順調に進んでいます。加温ハウスでは8月末まで、無加温ハウスでは、10月から翌年5月末まで収穫が行われ、約40tが県内外に出荷される予定です。



【収穫作業に大忙しの

稲葉義則さん，典史さん】



【たわわに実ったグリーンレモン】